

各位

2026年4月16日

トランコム株式会社

トランコム、愛知県豊田市に自動車部品物流の戦略拠点「C-AREA 豊田」を竣工

トランコム株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役 社長執行役員：神野 裕弘、以下、トランコム）は、2026年4月1日より稼働を開始した、当社最大規模の自社物流拠点「C-AREA 豊田（シーエリアトヨタ）」の落成式を2026年4月16日に執り行いました。

当社は、業界ごとの特性を考慮した物流最適化と環境に配慮した持続可能な物流の実現を目指し、拠点展開を推進しております。自動車産業の中心地である豊田市に拠点を構えることで、輸送効率を高め、カーボンニュートラルへの取り組みを最大化させ、部品調達から供給に至るサプライチェーン全体の最適化の一翼を担ってまいります。



<C-AREA 豊田 外観>



<落成式>



News Release

■「C-AREA 豊田」の特長

本センターは、需要地に極めて近い立地特性を活かし、以下の3つの価値を提供します。

1. 輸送効率の最大化と CO₂削減

需要地に極めて近い C-AREA 豊田を中継地とすることで走行距離を短縮、物流を集約することで積載効率を向上させ、輸送過程における CO₂排出量を削減します。

2. 自動車部品の供給に最適な物流の確立

パートナー企業との強固な連携体制を構築し、ジャストインタイムを実現しながらも、環境負荷を最小限に抑える「持続可能な物流モデル」の具現化に貢献します。

3. 高付加価値物流の展開

リチウムイオン電池をはじめとする、危険物や精密部品の取り扱いノウハウを結集。安全かつ高効率な次世代型ロジスティクスを提供します。

■代表取締役 社長執行役員 神野 裕弘のコメント（落成式挨拶より抜粋）

物流は本来、CO₂を排出する側面を持つ産業ですが、“ゼロにはできなくとも、極限まで減らす努力はできる”その意志を具現化したのが、この C-AREA 豊田です。この建物という“器”に情熱という魂を込め、地域の方々からも信頼される誠実な仕事を積み重ねることで物流から日本の未来を支えていく所存です。

■施設概要

名 称	トランコム(株) C-AREA 豊田（シーエリア トヨタ）
所 在 地	愛知県豊田市堤町青木 1-2
アクセス	東名高速道路 豊田インター 5 km 伊勢湾岸自動車道 豊田南インター 3.5km
稼働開始日	2026 年 4 月 1 日
主な業務	自動車部品の保管・輸配送
敷地面積	31,367.91 ㎡
延床面積	26,175.63 ㎡